

「地域の感染レベル」が2に上がりました。

「地域の感染レベル」が2に上がって変わる事

①健康状態の把握【レベル3地域・レベル2地域】

★児童生徒等本人のみならず、家庭への協力を呼びかけ、同居の家族にも毎日健康状態を確認するようにお願いします。

→健康観察カードに同居の家族欄を追加 ※本校では、以前から行っています。

★登校時の検温結果の確認及び健康状態（同居の家族の健康状態も含む）の把握を、校舎に入る前に行うようにします。

→昇降口での非接触体温計での検温および健康観察の把握を徹底

★児童生徒等本人のみならず、同居の家族に風邪症状がみられる場合には、登校をさせないようにします。

→夏季休業中に保護者へメール連絡および町教育委員会からの文書を配布

②感染リスクの高い学習活動【レベル2地域】

「感染症対策を講じてもお、感染リスクの高い学習活動」において、★印の特に感染リスクの高いものは、これまでより、「より強力」な感染対策を検討するまで、実施しない。

- ① 各教科に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」★
- ② 理科における「児童が近距離で活動する実験や観察」
- ③ 音楽科における「合唱、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」★
- ④ 図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ⑤ 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」★
- ⑥ 体育科における「児童が密集する運動」★や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」★
(★はこの中でも特に感染リスクの高いもの)

なお、屋内で50名以上が集まる活動（学年集会、学年体育等）は行いません。

※運動会の練習については、50名程度までとする。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2 m 程度 (最低1 m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活動 で短時間での活動に 限定
レベル2	1 mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	収束局面 ↓ 感染リスク の低い活動 から徐々に 実施 ↑ 感染リス クの高い 活動を 停止	感染リスクの低い活動 から徐々に実施し、教 師等が活動状況の確 認を徹底
レベル1	1 mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	適切な感染対策を行った 上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

③休み時間の動線【レベル3地域・レベル2地域】

トイレ休憩については混雑しないよう動線を示して実施。また、廊下で滞留しないよう、私語を慎むなどの指導の工夫が必要。

→手洗い時、トイレ使用時は、廊下に貼っているテープを使って、距離を保つ。

※夏季休業中に各階トイレ前・手洗い場前に導線を示す。